

Studies in The Humanities and Sciences

Vol. L No. 1

Consecutive No. 95

Articles

- Cléo*, vingt-quatre-dix minutes
pour déserter le pays de la «Femme fatale» Kyoko Kanasugi (1)
- On the Significance and Problems of the Substantial Knowledge
in Teacher Training Curriculum
—in the Case of Social Studies in Elementary School Education— Shin'ichi Sohma (29)
- On the Ethnic-media of Bangladeshis Living in Japan:
A case of "Parabas" (*Porobash*) Mineo Takada (47)
- The Sociological Aspects of Hiroshima "Kagura" Takeyoshi Higuma (71)
- Anzeichen der Geburt des modernen Künstlerbildes gemäß
dem kantschen Geist der Aufklärung:
Kants Begriff „Mut“ als Schlüssel zur Lösung des Problems Hiroaki Furukawa (97)
- Professional Baseball Watching Behavior of the Young People in Hiroshima
—Research on Logit Model and Structure of Consciousness
that Attaches to Watching or not Doing— Tomoyo Hirota (121)

Note

- Wie soll ein Künstler ein Kunstwerk schaffen?
Legitimität des Geschmacks und Ethik des Kunstschaffens bei Kant Hiroaki Furukawa (135)

September 2009

Hiroshima Shudo University

広島修大論集

第五十卷 第一號（通卷第九十五号）

二〇〇九年九月

広島修大論集

第50卷 第1号
(通卷第95号)

論 文

- クレオの2時間
——ファム・ファタルからの逃走—— 金 杉 恒 子 (1)
- 教員養成教育における内容知の意義と課題
——小学校社会科に注目して—— 相 馬 伸 一 (29)
- 在日バングラデシュ人のエスニック・メディア
——『ボロバシュ』を事例として—— 高 田 峰 夫 (47)
- いわゆるいまの「ひろしま神楽」の今日的位相 日 隅 健 壬 (71)
- カントの啓蒙精神における近代的芸術家觀の胎動
——「勇気 (Mut)」の概念を手がかりに—— 古 川 裕 朗 (97)
- 広島地域における青年層のプロ野球観戦行動
——観戦する／しないのロジットモデルと
意識構造に関する一考察—— 広 田 ともよ (121)

研究ノート

- 芸術家はいかに創るべきか?
——カントにおける趣味の正統性と創作の倫理—— 古 川 裕 朗 (135)

2009年9月

広島修道大学

執筆者紹介

金 杉 恭 子	広島修道大学法学部	教 授	フランス語・フランス文学
相 馬 伸 一	広島修道大学人文学部	教 授	教育哲学・学習論
高 田 峰 夫	広島修道大学人文学部	教 授	地域研究・社会学
日 隈 健 壬	広島修道大学人文学部	教 授	社会会学
古 川 裕 朗	広島修道大学商学部	准教授	美学・芸術学
広 田 ともよ	広島修道大学人文学部	非常勤講師	社会会学

広島修大論集 第50巻 第1号（通巻第95号）

2009年9月24日 印刷

2009年9月30日 発行

発行所 広島修道大学学術交流センター

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

電話 (082)830-1114

印刷所 レタープレス株式会社

〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地5

電話 (082)844-7500(代)